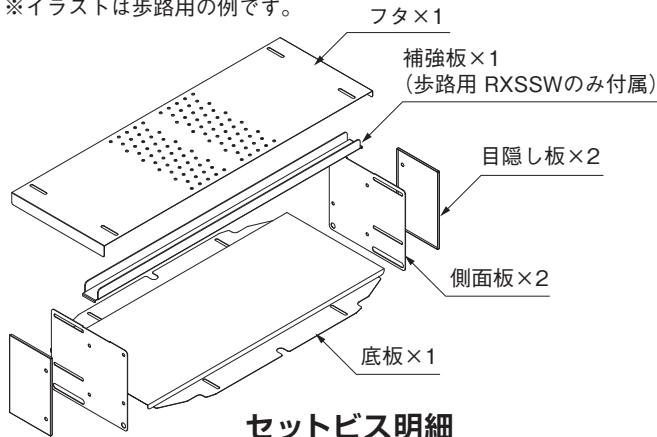


■ セット明細(各部名称)

※イラストは歩路用の例です。



セットビス明細

部品名	数量
セムス⊕六角 M6×15L	8
フランジナット M6	8

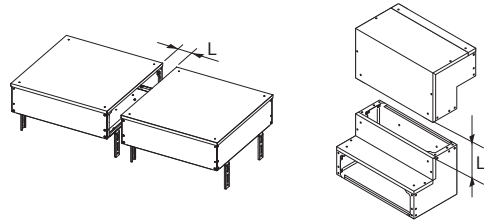
■ 仕様

〈接続対象パーツ〉

- ・RX-900(H) (十字型分岐ジョイント)
- ・RXW-900(H) (十字型分岐ジョイント 歩路用)
- ・RF-900(H) (平面コーナー 45°)
- ・RFW-900(H) (平面コーナー 45° 歩路用)
- ・RCI-900(H) (立面インコーナー 90°)
- ・RCO-900(H) (立面アウトコーナー 90°)

〈対応スライド調節幅〉

型番	調節幅L(mm)
RXSS(W)-900(H)-1	0~100
RXSS(W)-900(H)-2	100~200
RXSS(W)-900(H)-3	200~300

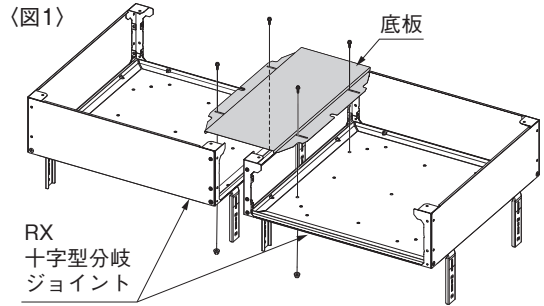
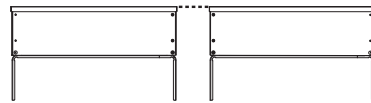


■ 平面コーナー施工手順 〈(例) RX-RX間接続〉

1 底板の取り付け

底板を同梱のセムス⊕六角とフランジナットで取り付けます。(計4箇所)〈図1〉

① 天面が同じ高さになるように調節してください。

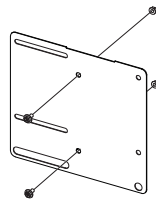


2 側面板の取り付け

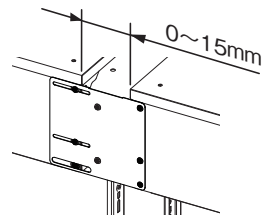
スライド調節幅が0~15mmの場合

スライドジョイント側面板中央の穴(2箇所)をあらかじめ、同梱のセムス⊕六角とフランジナットで穴ふさぎをしてください。

穴ふさぎ箇所

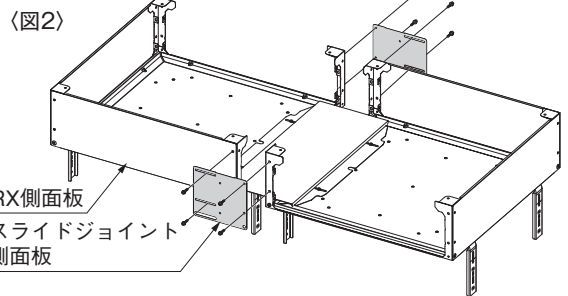
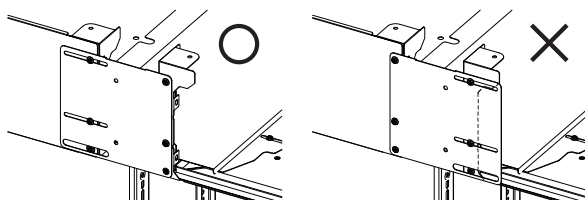


取付後
目隠し板は
使用しない
(手順3)



RXに付属のセムス⊕六角を取り外し、RX側面板、スライドジョイント側面板の順に共締めで取り付けます。(計8箇所)〈図2〉

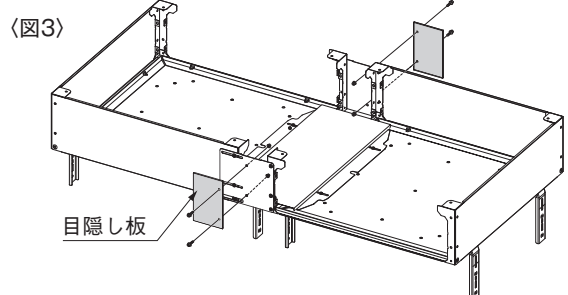
② スライドジョイント側面板は裏表どちらでも取り付け可能ですが、配管経路側にはスライド部が飛び出さない方向で取り付けてください。側面板が飛び出すとRD直線ダクトの取り付けができなくなります。



3 目隠し板の取り付け

目隠し板を同梱のセムス⊕六角とフランジナットで取り付けます。(計4箇所)〈図3〉

③ スライド調節幅が0~15mmの場合は、目隠し板を使用しません。

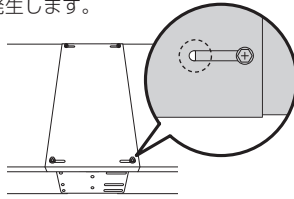
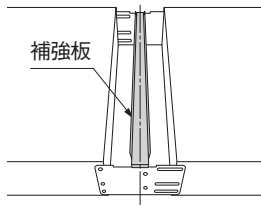


4 補強板(歩路用のみ)/フタの取り付け

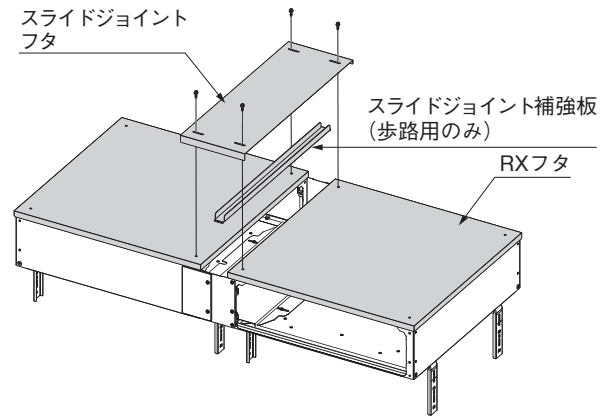
RX(W)の補強板、フタ、スライドジョイントのフタの順にRX(W)に付属のビスで共締めで取り付けます。(計4箇所)〈図4〉

注 歩路用の場合は補強板をパーツ間の中心位置に取り付けてください

注 対応スライド調節幅以上で使用しないでください。対応スライド調節幅以上で使用するとスライドジョイントフタの長穴にすき間が発生します。



〈図4〉
スライドジョイント
フタ

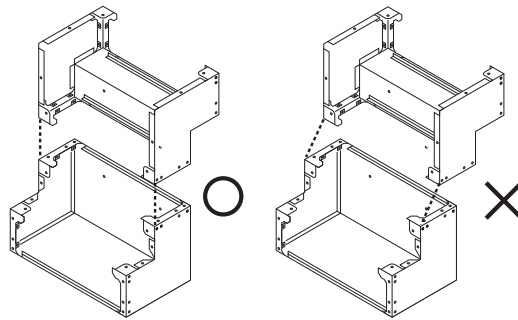


■ 立面コーナー施工手順 〈(例) RCI-RCO間接続〉

1 底板の取り付け

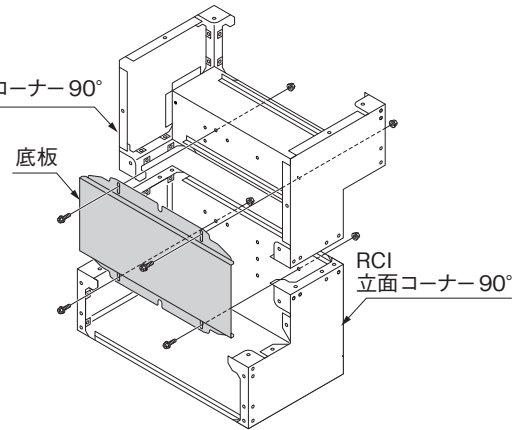
底板を同梱のセムス⊕六角とフランジナットで取り付けます。(計4箇所)〈図5〉

注 フタ取り付け面が同じ高さになるように調節してください。



〈図5〉

RCO
立面コーナー90°

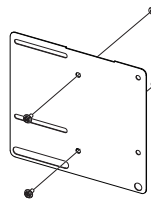


2 側面板の取り付け

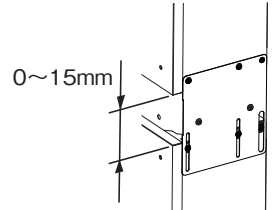
スライド調節幅が0~15mmの場合

スライドジョイント側面板中央の穴(2箇所)をあらかじめ、同梱のセムス⊕六角とフランジナットで穴ふさぎをしてください。

穴ふさぎ
箇所



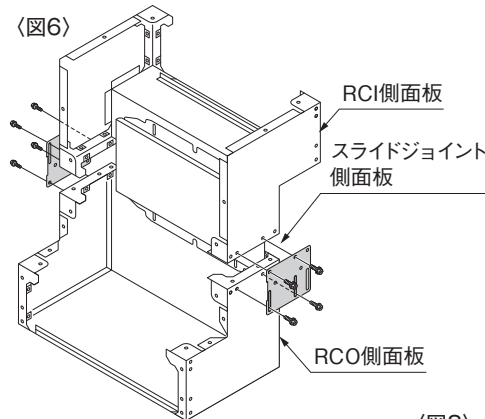
取付後
目隠し板は
使用しない
(手順3)



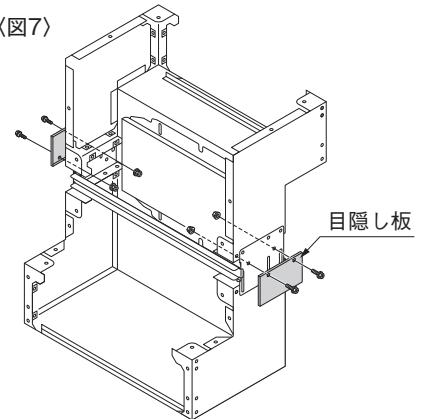
RCI、RCOに付属のセムス⊕六角を取り外し、RCI、RCO側面板、スライドジョイント側面板の順に共締めで取り付けます。(計8箇所)〈図6〉

注 スライドジョイント側面板は裏表どちらでも取り付け可能です。

〈図6〉



〈図7〉



3 目隠し板の取り付け

目隠し板を同梱のセムス⊕六角とフランジナットで取り付けます。(計4箇所)〈図7〉

注 スライド調節幅が0~15mmの場合は、目隠し板を使用しません。

4 フタの取り付け

RCI、RCOのフタ、スライドジョイントのフタの順にRCI、RCOに付属のビスで共締めで取り付けます。(計4箇所)〈図8〉

注 RCOのフタ端部プレートはスライドジョイントを施工しない側に取り付けてください。

スライドジョイント
フタ

